

## ある島にて

ゆるやかで、かつ確信に満ちた張力が  
組み合わされた掌を中心にして  
舞踊を風と変え、重力を詩に変える

白い壁に映る青い大気は  
ゆるやかな弧を追跡するうち  
自らを犠牲にして他の色彩を濃密にしてゆく

私に託された慟哭は  
この色彩のざわめきに静められ  
静寂のうちに憩うために大きく呼吸する

彼女とともに回りながら  
その肩越しに広がる濃青色の海の上を滑り  
浮遊するひとつの種子となること

僕は感じるのだ  
私に託された無数の涙が  
この舞踊によって彼女に抱き上げられているのを

僕は想うのだ  
この舞踊を花開かせた人々の生活(くらし)を  
ここに流れる時間のゆらめきを

(2001.9.14)